

「2021 年度 JVR サテライトセミナー」参加者募集

2021 年 5 月 JVR 事務局

2019 年度、2020 年度の 2 年間にわたり、JVR 会員の参加のもと「JVR サテライトセミナー」を実施してきた。新規開発される自動車（特に電動系自動車）を対象に、電動系シリーズ/安全系シリーズについてトヨタプリウス/ホンダフィット/ホンダ N-Box/日産ノートに対して解説（特に解体方法）を実施してきた。Web セミナー配信を繰り返すことにより、配信の K/H が分かり受講者にも安定して受講して頂けるように進化してきた。

一方、JVR の役割は、会員内でのクローズな情報共有だけではなく広く解体事業者に対して情報提供をして、解体業のレベルアップを図っていくことである。2021 年度からはこの役割を実現するために、「JVR サテライトセミナー」を活用していくこととした。解体事業者に幅広く提供できる資料を活用したセミナーを実施すべく、新たなセミナー内容を企画し進めていくこととした。

以下の内容を確認頂き、ご賛同頂きましたら、「2021 年度 JVR サテライトセミナー」にご参加下さいますようお願いいたします。

1. 2021 年度テーマ【2050 年に向けた解体事業ビジネスの確立】

『2050 年カーボンニュートラル社会を見据え、解体事業を安定ビジネスとするために、2025 年までに電動系自動車の解体 K/H 取得と解体処理の確立を図る』
セミナーではそのために必要な共有情報を提供する。

2. セミナーテーマ背景

「SDGs（持続可能な開発のための 2030 アジェンダ）では資源・廃棄物制約や気候変動問題等への対応が求められている。循環経済（サーキュラー・エコノミー）への移行が世界共通に課題となっており、国内ではプラスチック資源循環の高度化に向けた取組が進められている。さらに、2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略では、電動化の推進や車の使い方の変革等の取組みにより、2050 年に自動車のライフサイクル全体の CO2 ゼロを目指すとしている。こうした今後の自動車を取り巻く環境の変革を見据えて」※1、取組むべき方向を見出さなければならない。

すなわち、課題①「SDGs をベースとした、資源・廃棄物・気候変動」と、2050 年カーボンニュートラルに向けた課題②「CO2 ゼロを目指す自動車の変革」の二つが、解体業界として取り組むべきテーマと考えられる。

（※1 第 53 回審議会資料 4 より）

3. 2021 年度セミナーテーマの考え方

課題①に対しては、資源有効活用と廃棄物削減に向けての情報共有

課題②に対しては、電動系自動車の動向と安全な解体に向けての情報共有

4. 2021 年度テーマ

- (1) 樹脂の解体システム⇒審議会で議論されている「プラスチック資源循環の高度化に向けた取組」のインセンティブシステムを実現するためのヒント
- (2) 電動系自動車の動向⇒グリーン成長戦略の目標と実際の動き
- (3) 電気自動車等の整備の業務に係る特別教育（受講終了証交付）⇒電動系自動車の安全な解体を担保

↓

- 👉 (1)=樹脂部品の解体システム
50分×1回
- 👉 (2)=電動系自動車の動向
50分×2回
- 👉 (3)=電気自動車等の整備に係る特別教育
60分×7回

5. スケジュール

- ・2021年6月～2022年3月
- ・ライブ講習（全10回／16:00～17:00、実講習50分）
- ・オンデマンド講習（見逃し動画配信：全10回）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者募集	◎										
(1)樹脂部品解体システム			②								
(2)電動系自動車動向		①									⑩
(3)低圧電気講習				③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	

6. 受講対象者

- ・JVR 会員／自動車リサイクル業者

7. 受講（配信）方法

- ・ライブ配信→コクリポウェビナー活用で PDF と PPT 資料による解説（JVR で撮影した動画及び一般公開されている動画も活用する）
- ・オンデマンド配信→JVR ホームページ活用でライブ配信録画の YouTube 限定配信
- ・講習費→10回受講 12,000 円／人＋電気自動車等の整備の業務に係る特別教育受講終了証交付料 3,000 円／人→計 15,000 円／人（税込み 16,500 円）
- ・受講終了証交付者の担保→講習会ライブ配信時に「申し込み時に配布した個人 ID」を、チャット入力して学科教育受講確認

以上